

## 学習のアドバイス 1年生の学習法

今後の学習について先生方にアドバイスをいただきました。

# 国 語

授業という形で国語の勉強が出来ないのは本当に残念…。でも、自分でも国語の学習を進めることは出来ますし、むしろ時間がある今にこそ、コツコツ、じっくり、たくさん、国語の力をつけて欲しいと思います。因みに「国語の力」とは、

様々なことに興味を持ち、文章を読んだり、物事を見たり聞いたりすること。それを的確に理解すること。そして身に付けた多様な見方・考え方を、自分の考えや表現することに繋げること。

したがって、国語という科目は「これをやればたちどころに力がつく」ということは難しい。しかし、こうした力が他の教科の基本となり、何より自分の成長にも繋がります。

休校期間中の国語の学習のアドバイスとして、以下の3つのことを実践してみましょう。

### ① 『漢字マスター1800+』で漢字の学習、『古文単語325』で古語や古典常識の学習

→大学入試に求められる漢字力は、そのまま高校卒業レベルの漢検2級に相当。

けっこう難しい。古語も「名詞」や「形容詞」など、興味を持ってそうなところからやってみよう。コツコツ！

### ② 本、漫画、新聞を読む

→こんな時こそ本を読むチャンス。興味のある本、話題になっている本、何でも良い。

今年学習する予定の芥川龍之介や太宰治の作品などは、著作権が切れているので「青空文庫」(<http://www.aozora.gr.jp/>)で読むことが可能です。

作品を漫画で読むのも一つ。源氏物語の漫画版、大和和紀「あさきゆめみし」など。

そして、総合学習の課題でもありますが、新聞、特に社説欄を読むことは、やっぱり勉強になる。同時に、その要約や感想を書くことも忘れずに。じっくり！たくさん!!

### ③ テレビやインターネットの活用

→こんな時はテレビの教養番組や、インターネットの学習サイトも活用しよう。

NHKの「10min.ボックス」。主要な文学作品の概要を朗読と映像で学べます。

同じくNHKの「高校講座 国語総合」。ラジオ番組なので音声ですが、一応pdfで内容データもあり。ただし、教科書に載っている教材は避けて学習してください。

有文出版「一学楽校」のサイトでは、国語に限らず楽しいコラムが載ってます。

・NHK for School (<https://www.nhk.or.jp/school/program/>)

・NHK高校講座 (<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/>)

・一学楽校Navi (<http://ichigaku-rakukou.net/category/kokugo>)

# 日本史

高校では、中学と違いより深い範囲の内容を学習します。そのために準備できることとして、2つの内容が挙げられる。

## ① 現在の都道府県名と旧国名を対比させて覚えよう。

日本史の授業を学習するにあたり、「誰が・どこで・何をした」のかが非常に重要になる。その出来事がどこで発生したのかということやその人物がどこを出身なのかなどを覚えないと日本史の全体像は非常につかみにくい。そのため、現在の都道府県名とそれに対応する江戸時代まで使用されていた旧国名を覚えることが非常に重要。旧国名はすべてを覚える必要はないが、よく出る国名(薩摩=鹿児島県・土佐=高知県など)は最低でも覚えておくこと。

## ② 日本史に対して、興味関心を持とう。

日本史は映画・映像・本・漫画・建物などいろいろなものが教材になる科目。そのため、興味を持つことで様々なことが理解できるようになる。漫画や映画といった簡単なものからでも構わないので、人物や建物、地名など何か一つにしぼって、スマートフォンやパソコンを使って調べることから始めてみましょう。誰について調べるのか、その人の経歴はどのようなものか、その人の経歴・年表などはどうなのかを調べましょう。

# 世界史

## 世界史に関心を持とう

世界史を学ぶことは人類が歩んできた道のりを辿る作業です。そこには、ロマンあり、喜びがあり悲しみがあり、わくわくするような人間ドラマの連続です。君たちはその追体験者になれるのです。

歴史に関心を持つ方法として、まず、歴史に関するDVD・漫画などを見てみましょう。歴史に関するものはたくさんあります。題名を見て面白そうなものを選んでみてください。当然、脚色が加えられていますが、入門編としては良いと思います。(キングダム、三国志、アレキサンダー、ベンハーなどなど)

次に覚えておいたほうがいいことがあります。「国名・都市名・地理名」です。世界史の場合行ったこともない、聞いたこともない地名が出てきます。場所がわかれば具体的なイメージを描くことができます。地図帳などを活用して配布されている「白地図ワーク」をやってみてください。

さらに自ら調べることが重要です。

興味ある人物についてその生涯、エピソードなどをまとめてみましょう。調べるアイテムとしてスマホやパソコンがあります。活用してみましょう。歴史上の人物がぐっと身近になるかもしれません。

「歴史とは現在と過去との絶え間ない対話である」

## 英 語

みなさん、何も言わず、まずは「中島 浩平」、You Tubeでこの名前を検索してみてください。「Animation English」というチャンネル名で、英文法や前置詞の使い方などをとても分かりやすく、イメージでマスターできる動画がたくさん公開されています。あの有名な東にある大学の合格者も愛用していると噂のチャンネルなので、隙間時間を使って有効に活用してください。

隙間時間を使ってスマホのアプリで英語の学習という方法もあります。学習用のアプリは検索すればいくつが出てきますが【英検公式 スタディギア】というアプリもあるので興味のある人は試してみてください。

アプリを使う場合は個人情報を登録したり、中には課金を必要としたりするものもあるので使い方には十分注意し、保護者と相談して利用するようにしてください。

英語学習には何か目標があると、モチベーションがアップしますね。このアプリを使って、高校1年生の間には是非とも英検準2級に挑戦してみてください。

また、【Polyglots】というアプリでは、実際のニュースやスポーツのこと、音楽や旅行など、様々なジャンルの英文を読んだり聞いたりすることができ、さらには単語の学習もできます。学習履歴もつくので、継続的、計画的に英語学習をしたい人はぜひ試してみてください。ただし、こちらのアプリも課金を必要とする機能があるので十分注意して使うようにしましょう。

実は、みなさんがこれから授業で使っていく教材のアプリもあります。まずは、この一年基礎力テストの際にも使っていく、単語帳のStockです。以下のQRコードを読み取るか、URLにアクセスすると、スマホやパソコンを使って簡単に単語学習ができます。単語のフラッシュカードに音声がついているので、学習が効率的になります。基礎力テストの範囲ごとに分かれているので、これはもう活用するしかないです。単語は、英語で何をするにも大切です。隙間時間にこれで勉強し、どんどん語彙力を高めていってください。目指せ基礎力テスト満点！！

<https://quizlet.com/join/JBaHBQrPs>



また、英語表現の授業で主に使う予定の、総合英語 FACTBOOKの例文を学習できる、「きりはらの森」というアプリもあります。ダウンロードして開くと、教材が選べるようになっているので、自分が持っているものと同じ教材(太くて青いものと、薄くて緑のもの)を選んで学習してみてください。一年生では、英語の文法を一通り学ぶ予定です。コツコツと、いろいろなことを吸収していきましょう。

コロナウイルスで外出できない時には、スマホから少し離れてじっくり英語の本を読んでみるはどうでしょうか？映画やミュージカルで有名な「レ・ミゼラブル」「オペラ座の怪人」「赤毛のアン」などはストーリーを知っているので、取り組みやすいかもしれませんね。英語で本を1冊読み切った達成感は何物にも代えられません。学校では1年生に貸し出し本を準備してあります。あなたは1年に何冊読めますか？まずは簡単な英語で書かれた本から始めて、たくさん読み英語で読むことに慣れ親しみましょう。

# 数 学

教科書の各ページにある例題はとても大切な問題ばかりです。これらの問題を理解して、数字が変わっただけの問題や類題も自分で解けるようにしましょう。

そのために、まずは教科書の各ページにある例題をよく読んで理解。そしてそれら例題を参考にして、例題のすぐ下にある問を自力で解きましょう。余力のある人はアドバンスプラスの問題集から類題を探して自分でやっておくと、さらに効果的でよいでしょう。

数学の学習は

『例題の理解→数字を変えた問題や類題を解く』

これの繰り返しです。

数学の学力をつけるためには代表的な問題を理解して、何度も何度も繰り返して解くことが大切です。問題を理解できることと、問題を解けるということは全く違います。授業においても、自主学習においても、問題を理解できたらそのままにしておくのではなく、必ず自力で類題を数多く解きましょう。取り組んだ問題数が多ければ多いほど定着します。

高校の数学は中学の数学と比べて専門性が増し、難しくなることは確かです。しかし、中学の学習時間以上に時間をかけてじっくり取り組めば、必ず内容が理解できて、学習が楽しくなってきます。がんばりましょう！

# 物 理 基 礎

最初にインターネットで、「NHK高校講座・物理基礎」と検索し、イメージを作ってから教科書を読む。そして関連の問題を解く。この順番を守りましょう。

A「速い」「遅い」を比べる                      B 速度が変わらない運動を表す  
C 変化する速度について考える              D 速度が変わる運動を表す。

- ① Aを見る。教科書を読む。教科書の問題、問題集セミナーで関連の問題を解く。
- ② Bを見る。教科書を読む。教科書の問題、問題集セミナーで関連の問題を解く。
- ③ Cを見る。教科書を読む。教科書の問題、問題集セミナーで関連の問題を解く。
- ④ Dを見る。教科書を読む。教科書の問題、問題集セミナーで関連の問題を解く。

※いきなり問題集から取り組むと、イメージがないので公式の暗記に走ってしまいます。

公式暗記→数値代入の学習では、応用問題に対応できなくなります。

<お薦めサイト>

また、「NHK・テイクテック」と検索し、10回の中から興味のある内容を見るとよい。

世の中の工業製品の中に隠れた物理を知ることができます。小学校高学年向けですが、高校生にも是非見てもらいたい内容です。

# 生物基礎

家庭学習では教科書の6ページから読み進めてください。教科書P.11～17の内容については、登校日に配布したプリントでどこまで理解できているか確認すること。

これからしばらく教科書を中心に生物図表も参照しながら学習を進めることとなりますが、「NHK高校講座 生物基礎」を寝落ちせず視聴できれば非常に参考になります。テレビ放映が終わった回については、Web上の[NHK高校講座生物基礎](https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/seibutukiso/) (https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/seibutukiso/) で何度でも繰り返し(小单元ごとの映像クリップになっています)見ることができます。教科書に載っていない興味を惹かれる内容も盛り込まれていて、眠くはならないはずですよ。

一通り読み(視聴)したら、問題集「リードα 生物基礎」で知識の確認。P.4～P.14に第1章の内容がすべてまとめられています。まずP.15で顕微鏡の取り扱いに関する理解度をチェック。

問題演習専用のノートを作り、答えはそこに書くようにする。

一通り解き終わったら答え合わせをすることになるが、正解できていればその問題はOK。間違えたけど答えを見て理解できた問題には△などの印をつけておいて、時間をおいて再度解く。

答えを見てもよくわからない問題がもしあれば、問題に×などの印をつけておいて、とりあえず正解をノートに書き写し、これも時間をおいて再度解く。

×→△→OKとなるまで、これを繰り返すことで着実に力が付きます。

続いてP.17基礎CHECKの1～3で基本事項を確認。そして、P.18～P.19基本例題1～4で問題の解き方を確認したら、P.21リードCの問題番号1～P.24問題番号9までを解く。やり方は同じです。

自宅学習の期間がどこまで続くか現時点ではっきりしないので、教科書P.36の第2節以降についても、同様に学習を進めていってください。

## <お薦めサイト>

今回のウイルス騒動の影響で「映像授業」サービスを提供する各社が続々と無料提供を始めております。いくつかのサイトを紹介しますので、まだ習っていない授業のない科目の予習に役立ててください。

NHK高校講座 活用方法ガイダンス(まずはこれを見よう)

[https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/spring\\_break/intro.html](https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/spring_break/intro.html)

高校講座ガイダンス



## <<オススメ映像授業>>

① 学びエイド(無料会員登録が必要) <https://www.manabi-aid.jp/>

内容が「授業」のためNHK高校講座より詳しい。個人情報に気を付けて登録し、見ておくととても勉強になる。生物以外にも多くの科目・内容があるため勉強ができる。

・村杉拓夢の日本一わかりやすい生物基礎

<https://www.manabi-aid.jp/user/prof/2PI>

② Web玉 <https://www.webtamajuku.com/seibutu>

会員登録不要で各科目の教科書内容の説明動画が見れる。生物は内容が少し物足りない部分もあるが、面白くまとめているので楽しく見れる。You Tubeにつながる。ホームページの制作者も「教科書を使って自分で勉強しろ」と言っているので教科書をつかって復習しましょう。生物以外も英語とか社会科とかがある。

Web玉



③ Try it <https://www.try-it.jp/>

家庭教師のトライの映像授業サイト。無料登録をすると各科目の映像授業が視聴可能。1コマ10～20分で単元別になっている。丁寧な説明で内容は易しめ。

④ N予備校 <https://www.nnn.ed.nico/>

小中高の休校要請を受け、全ての教材とオンライン授業を無料開放している。niconicoという動画サイトのアカウント登録が必要だが、こちらも無料で取得できる。予備校の授業のため1コマ90分で、すべて視聴すれば教科書1冊分が学べる。

⑤ アオイゼミ <https://www.zkai-gr.co.jp/>

Z会グループの通信教育。3/30まで無料公開されていたため、休校措置の延長を受けて、今後も無料公開される可能性がある。Z会は難易度が高いのでしっかりと勉強したい人向け。

⑥ スタディサプリー <https://studysapuri.jp>

リクルートが運営する進学支援サイト。14日間の無料体験ができるが無料期間の翌日から利用料金が発生する。

生物だけでなく各科目の映像授業がありますが、どの授業が有用で、どの授業が内容に不足があるかは教科担当者でないとわからないので、参考程度に視聴し、その単元の内容については教科書を用いて学習することをお勧めします。

**学習の基本は教科書であること**をお忘れなく。

また、URLは載せてありますが、検索をかけた方が早いかもしれません。情報機器を上手に使えるようになりましょう。情報機器はおもちゃではなくツールです。

※ 登録の必要のないサイトのみQRコードを載せてあります。